

## 「365日リハビリテーション」を開始しました

当センター回復期病棟の365日リハビリテーションの特徴は以下の通りです。  
患者様が1日でも早く家庭や社会に復帰できるように最善を尽くします。

### 毎日途切れないリハビリテーション

- 土曜、日曜、祝日、年末年始に休みなくリハビリを実施します。
- 事前情報から入院前に担当療法士を決定し、入院当日からリハビリが開始できるよう調整しています。



### 1日最大3時間のリハビリテーション

患者様の体力、意欲等によっては最大3時間の実施が可能です。



### 充実したリハビリスタッフ数

- スタッフ数は理学療法士26名、作業療法士31名、言語聴覚士9名の計66名を要しています。
- リハビリ技術向上のため職員教育にも力を入れています。  
各専門研修会への参加、研究会への入会、院内勉強会・症例検討会の開催等、専門性を意識し日々の技術研鑽に努めています。

### チームアプローチの充実

- 入院時から月1回、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、相談員（ソーシャルワーカー）が問題点や目標を共有し、機能回復やADL(日常生活活動)能力の向上を図るために、社会や家庭への復帰を目的としたリハビリテーションプログラムを策定します。
- リハビリ室以外でも、生活の場である病棟でのトイレ動作、入浴動作更衣動作、食事動作等の訓練を、看護師と連携して行います。  
また、御家族様へ介助方法、練習方法についての指導をします。

### 退院時の相談と支援

- 在宅復帰予定の場合、ご自宅への手すりの設置、段差解消などの住宅改修、車椅子やベッド、ポータブルトイレなどの福祉用具の選択等について相談支援します。  
必要に応じてご自宅へ訪問指導に伺います。
- バス、電車等の公共交通機関を利用する外出練習を必要に応じて行います。



#### 目次

「365日リハビリテーション」を開始しました(P1) フットケア外来～外来看護師と一緒に足を観察してみませんか(P2～3)  
「福祉パーク・介護実習・普及センター」ってどんなところ?(P2～3) 整形外科とリハビリテーション(P4)

# フットケア外来 ～外来看護師と一緒に



当センター外来では、医師指示の元に、看護師が、糖尿病の方の足のケアを行い、足の傷の重症化を予防するための、日常生活上の注意点、食事や体重コントロールにおいてのアドバイスなどを行っております。

糖尿病は、動脈硬化症や心筋梗塞、脳梗塞、網膜症、腎不全、末梢神経障害など様々な病気を引き起こす注意の要する病です。

また、足の末梢神経障害から、足に傷があることに気付かず、重症化し壊疽などを引き起こし、最悪の場合は、足の切断を余儀なくされるケースがあります。  
気になることがあれば、外来部看護師までお尋ね下さい。

フットケア外来は（水曜日・金曜日）15:00～ 予約制です。

（糖尿病療養指導士も勤務しております。）

# 「福祉パーク・介護実習・普及セン



## 福祉パークは・・・

屋外施設では公共用施設のモデルとして道路交差点、バス停、屋外トイレ、休憩所、車いす使用者の駐車場があります。子どもから大人まで体験、利用することができます。

館内施設は介護に関する様々な問題を集中的に学べる場所です。福祉機器や介護用品などの福祉機器展示コーナーと住宅改善モデルコーナーの展示場があります。屋内で軽スポーツができる多目的運動ホールがあり車いすバスケット等の運動をしています。

多目的運動ホール（体育館）、研修室は貸館をしていますのでご利用ください。

## 介護実習・普及センターは・・・

介護意識の啓発、介護知識・技術を学んでいただく講座を開いています。具体的な介護方法等を学んでいただけます。

また、一人ひとりの生活に合わせた福祉用具・介護に関する相談にも応じています。

お気軽にご参加ください。



# 足を観察してみませんか？～

- 足浴
- 爪切り
- 角質のケア
- 魚の目、タコの処置
- 足のマッサージ
- 日常生活指導
- 糖尿病の食事・運動療法のアドバイス



## 「ター」ってどんなところ？

### 介護実習・普及センターからのお知らせ

#### 介護体験見学講座 (要予約)

介護用品展示場見学、改善住宅見学、高齢者疑似体験、車いす体験、アイマスク体験

#### 公開講座 (要予約)

平成24年10月4日(木) 13:00～15:30

「超高齢化社会をこころ豊かに『動く』ために」講師 奈良県総合リハビリテーションセンター  
所長 宮内義純 健康体操指導者 澤坂佳子

#### 介護講座 (要予約) 募集人数30名 13:00～16:00

平成24年11月30日(金) 「介護予防について 認知症レク・干支を描く」  
平成25年 1月23日(水) 「アロマ」でリラクゼーション介護

#### 高齢者介護者向介護講座 (要予約) 募集人数30名 13:00～16:00

平成24年10月27日(土) 「脳卒中患者の理解 片マヒ患者の機能訓練介護」  
平成24年11月 7日(水) 「介護技術基礎2(ベッド・車いす)腰痛予防の介護方法」  
平成24年12月14日(金) 「フットケアと排泄ケア」

#### 自助具製作体験講座 (要予約) 募集人数8名 10:00～15:30

平成24年10月20日(土) 平成24年11月17日(土) 平成24年12月15日(土)  
平成25年 1月19日(土) 平成25年 2月16日(土) 平成25年 3月16日(土)

話を聞くだけでなく、実習を交えた講座内容になっております。

詳しくは  
介護実習・普及センターまで

TEL 0744-32-8848  
E-mail kaigo@soleil.ocn.ne.jp  
URL <http://kaigo.pref.nara.jp/>

# 整形外科とリハビリテーション

整形外科(orthopedic surgery)の名称は、パリ大学医学部長のNicolas Andryが1741年に著した「L'ortho-pédie」という著書に由来します。その語源はギリシャ語の“ortho-” (矯正)と“pedi-” (小児)が合わさったもので、『小児の身体の変形を予防し矯正する技術』という意味でした。現在では、対象を『小児の身体の変形』から『脊柱、四肢の運動器全般』を取り扱う分野へひろがり、加齢と共に増加し関節痛や腰痛を引き起こす変性疾患、外傷、先天異常、スポーツ障害、骨・軟部腫瘍、リウマチ、手足のしびれや麻痺の原因になる神経障害等多くの疾患が整形外科の治療の対象になります。

また、リハビリテーション(rehabilitation)の語源はラテン語で、re (再び) + habilis (適した)、すなわち『再び適した状態になること』『本来あるべき状態への回復』などの意味を持っています。リハビリテーションの治療は、機能障害そのものへのアプローチをおこないますが、機能障害が元に戻らない場合は代償的アプローチもおこないます。この2つのアプローチをバランスよく組み合わせて、最大限の機能回復と生活の質の向上を目指しています。

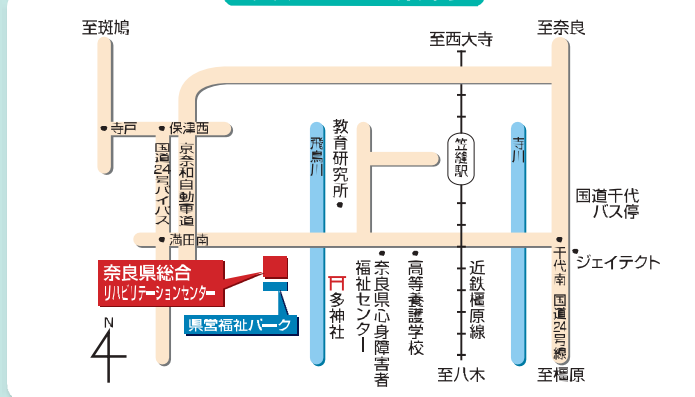
以上の整形外科、リハビリテーションの本来の目的を念頭に置きながら、リハビリテーションセンターの整形外科では、骨関節疾患により生じた関節痛、神経痛による歩行障害などの機能障害に対して最大限の機能回復・再建を目標として保存療法や手術療法をおこなっています。機能障害が元に戻らない切断や脊髄損傷などの場合は、代償機能の活用により日常生活が送り易くなるようにリハビリテーションを計画しています。

機能回復と生活の質の向上を目指し、『患者さんが最も幸せなかたちで社会に帰る』ことができるよう考えています。

整形外科医師

林 雅弘

## 交通のご案内



## 交通機関

- 近鉄笠縫駅……1.3km  
徒歩約20分
- 近鉄田原本駅……タクシー  
約10分
- 近鉄八木駅……タクシー  
約10分  
……リハビリセンター行バス  
約15分  
(12/29～1/3は、運休)

## 奈良県総合リハビリテーションセンター

〒636-0393 奈良県磯城郡田原本町大字多722番地  
電話0744(32)0200(代)  
FAX0744(32)0208  
<http://www2.mahoroba.ne.jp/~narareha/>  
(社会福祉法人 奈良県社会福祉事業団)

## 高次脳機能障害支援センター

### ○基本理念

私たちは障害のある方々の自立と社会参加に向け、総合的なリハビリテーションサービスを通して、相互に人格と個性を尊重し「支え合え、ともに生きる」社会の実現に貢献します。

### ○基本方針

私たちは、基本理念を踏まえ、「利用者よし」「事業所よし」「地域よし」の「三方よし」の考え方を基本方針とし、職員一人ひとりが真心をもって、最適な医療・福祉サービスを提供します。